

企画総務委員会 送付 3 - 5

放射能汚染水の海洋放出に反対する意見書の提出を求める陳情

受付年月日 令和 3 年 5 月 3 1 日

陳 情 者	提 出 者	1 名
	署 名 者	2 3 8 名
6 /	2 追加署名	9 名
6 /	3 追加署名	1 0 名
6 /	4 追加署名	4 名
6 /	7 追加署名	2 0 名
	計	2 8 2 名

千代田区議会議長 桜井 ただし 殿

陳情書

2021年 5月 21日

陳情者代表

(件名)

放射能汚染水の海洋放出に反対する意見書の提出を求める陳情

【陳情項目】

政府は4月13日、東京電力福島第一原発でタンクにためている放射能汚染水について、海洋に放出して処分することを決定しました。しかし、あまりにも一方的な決定です。そもそも、国や東電は地元の承諾がないもとは海洋放出は行わないと言っていました。それにも関わらずまともな国民的議論や理解を得ないまま、結論ありきで汚染水の海洋放出を進めることなど到底許されません。

汚染水に含まれるトリチウムは除去する技術が研究段階では開発されているとも言われています。当面は敷地内で地上保管を継続し、あらゆる知見を総動員してトリチウムの処理方法を実用化させるために全力をあげるべきです。

原発事故で福島県内では、風評という名の実害に苦しむ中で安全性と信頼を回復するために、様々な努力が重ねられてきました。海洋や自然界への放出という選択は、これまでの努力を根底から覆し、復興を更に遅らせることとなります。これは福島だけの問題ではありません。私のような鮮魚を扱う飲食店、鮮魚店も大きな影響を受け、安心して消費者にお魚を提供できなくなります。

以上の理由から、東京電力本社がある千代田区から政府に対し、福島第一原発敷地内に保管されている放射能汚染水の海洋放出に反対する意見書を提出して頂きますよう陳情いたします。

